

科目名	人の心の理解						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	中山 浩行	関連する資格					
授業概要 人の心を理解する方法の一つとして心理学がある。その心理学の中でも主に臨床心理学を取り上げ、自分を知るということを考える。その方法として心理検査の体験、エンカウンターグループの体験、夢の分析などを取り上げる。							
到達目標 ①悩んだり困ったりした時の自分の反応（性格）を知る。 ②心の病、いじめ、不登校等の背景を知り、今後の自分の生活に役立てる。			成績評価方法 出席、レポート、定期試験による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70%
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		20%
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10%
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 心理学の概要とオリエンテーション							
2) 夢の分析（自分の見た夢の自己分析）				自分の夢を記述して、その夢を分析する。			
3) エンカウンターグループの体験（集団の中での自分）				グループワーク体験を通して集団への関わり方を知る			
4) ストレスチェックリストによる自己分析、心理検査についての説明				ストレスチェックリスト等心理検査から自分を知る			
5) 心理検査『エゴグラム』の体験				交流分析による心理検査を体験し、自己分析をする			
6) 交流分析の理論（3つの私による分析）				自分の性格傾向と心の病との関連性を考えてみる			

7) 交流分析の理論 (基本的態度、自分を変える方法)	交流分析によって自分を変える方法を学ぶ
8) 交流分析の理論 (エゴグラムのパターン分析による自己理解)	エゴグラムのパターン分析から見た自分を知る
9) 交流分析の理論 (幼少期の親子関係と 12 の禁止令)	幼少期の親と自分の関係を振り返り、禁止令を考える
10) 心の病の概要 (カウンセリング的関わりから見る心の病)	周囲に心の病の人が居る場合の対応を学ぶ
11) 心の病の概要 (心の病を持つ人への接し方、関わり方)	周囲に心の病の人が居る場合の接し方を学ぶ
12) 子どもの問題 (いじめ)	2～3人の小グループで話し合い、その後で解説をする
13) 子どもの問題 (虐待)	2～3人の小グループで話し合い、その後で解説をする
14) 子どもの問題 (不登校)	2～3人の小グループで話し合い、その後で解説をする
15) 子どもの問題 (発達障害)	発達障害について知っていることを記述した後、解説
授業外学習	
心理学は、日常生活の中にあると考えるので、講義を通して、自分自身のことや、自分と周囲の人との関係性を振り返ることが授業外の学習と考えたい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「エゴグラム・パターン—TEG東大式エゴグラムによる性格分析—」東京大学医学部心療内科編	
備考	
私語を慎む	